

# 科目名 病理学

1単位 30時間 昼間部2年 前期 担当講師 小宮山 一雄

## 教育目標

病理学の一般目標は、疾病の成り立ち、分類、経過、転帰を総括的に理解し、形態や機能の変化を把握するとともに、疾病における画像上の変化と対比するための基礎を学ぶ。

## 到達目標

1. 医療における「病理学」の役割を理解する。
2. 疾病の原因としての「病因論」を理解する。
3. 病変を六つに大別し、各々の病変における意義や分類、代表的な症状や疾患について説明できる。

使用教材 系統看護学講座 専門基礎(4) 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学 医学書院

出欠確認方法 点呼 試験 有 評価方法 試験、受講態度の総括的評価

## 授業概要(前期)

- 1回 序論：病理学の意義と役割
- 2回 病因論1：内因(素因)
- 3回 病因論2：外因
- 4回 先天異常(奇形)：成り立ち・分類・代表的疾患
- 5回 循環障害1：循環血流量の異常
- 6回 循環障害2：閉塞性障害ならびに側副循環・リンパの循環障害
- 7回 代謝障害(退行性病変)1：萎縮・壊死・アポトーシス
- 8回 代謝障害(退行性病変)2：変性
- 9回 進行性病変1：増生・肥大・再生(修復)・化生
- 10回 進行性病変2：創傷治癒・移植
- 11回 炎症1：成り立ちと経過・各型分類
- 12回 炎症2：特異性炎・膠原病・アレルギー
- 13回 腫瘍1：定義・多段階発生機構・良悪性の鑑別
- 14回 腫瘍2：組織学的分類・発育転移形式・疫学
- 15回 総括

## 【実務経験】

口腔病理医・病理医として大学病院、市立病院に勤務。医療機関での実務経験をもとに病理学について話します。(小宮山)